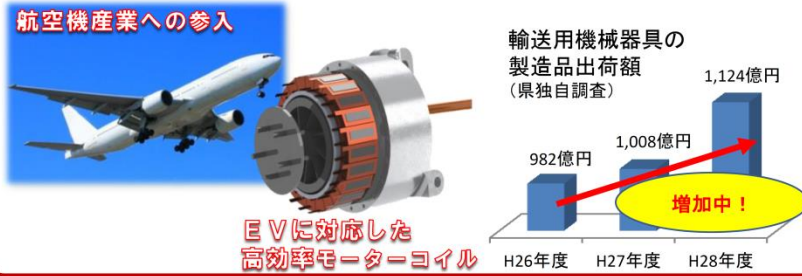


## 主な取組と成果

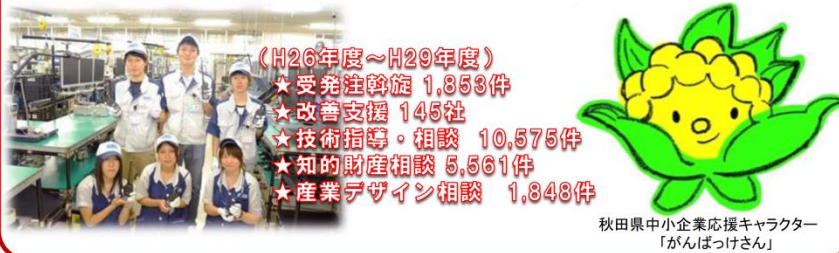
### ①航空機・自動車関連産業への参入が活発化!



### ②再生可能エネルギーの導入拡大! 関連産業の創出!



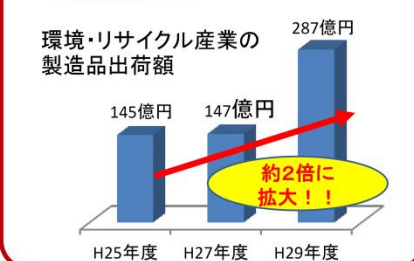
### ③「秋田県中小企業振興条例」を制定! オール秋田でがんばる中小企業を支援!



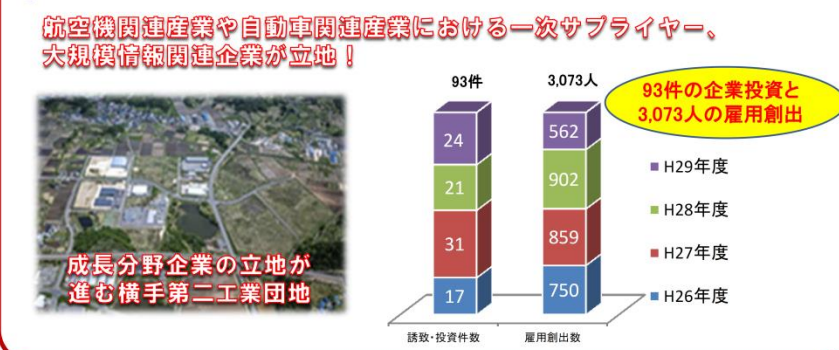
### ④全国に先駆けて事業承継を支援!



### ⑤進む環境・リサイクル産業の拠点化!



### ⑥誘致・設備投資の増加! 雇用創出!

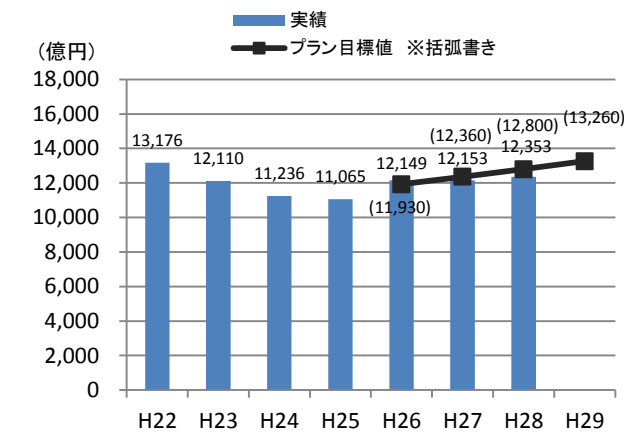


### ⑦企業ニーズに応じた産業人材の育成!

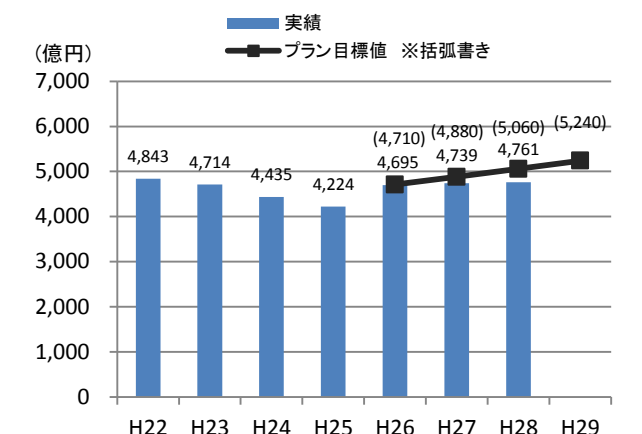


## 主な代表指標の達成状況

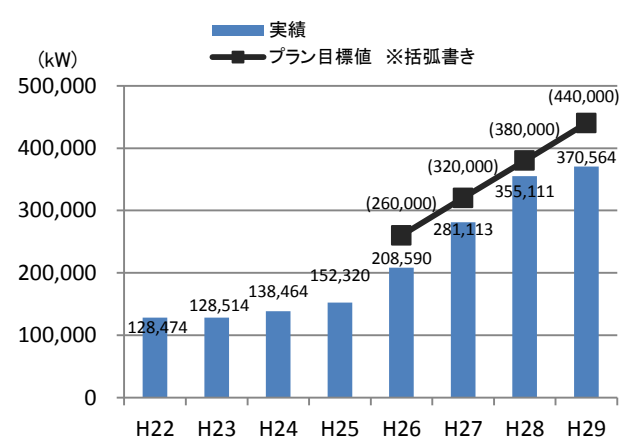
### ①製造品出荷額等 (従業者4人以上の事業所)



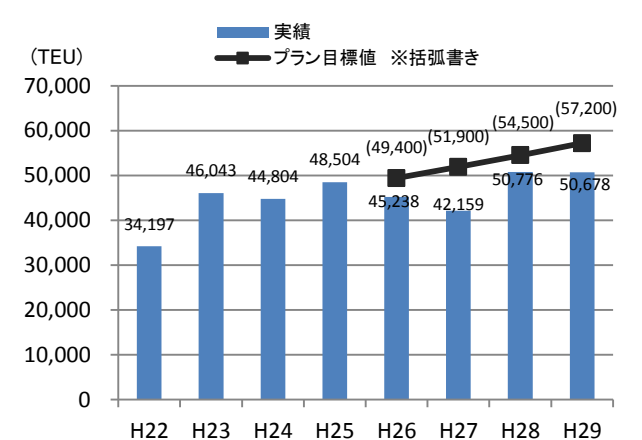
### ②製造業の付加価値額 (従業者4人以上の事業所)



### ③風力発電設備導入量(累積)



### ④秋田港国際コンテナ取扱量(実入り)



## 主な課題

- ①輸送機関連産業等の成長産業における県内企業の育成等を図るための各種施策を展開する必要がある。
- ②風力発電設備導入量が順調に拡大していることから、風力発電設備の建設工事、メンテナンスに加え、建設用部材や発電設備用品の供給等を行う関連産業の振興を図る必要がある。
- ③地域経済全体の底上げを図るため、サプライチェーン形成の中心となる中核企業の育成を図る必要がある。
- ④人材獲得競争の激化や国内需要の縮小など県内企業の事業環境が厳しさを増すとともに、経営者の高齢化も進行していることから、IoTやAIなど第4次産業革命の先進技術を活用した高付加価値製品の開発や生産性の向上のほか、事業承継等を通じた経営基盤の強化を図る必要がある。
- ⑤海外での継続的な取引の拡大を促進するとともに、輸入における秋田港の利便性の更なる向上を図る必要がある。
- ⑥県内就職の促進に向けた「働き方改革」による魅力ある職場づくりへの支援を進めるとともに、成長分野に対応した人材の育成や第4次産業革命の進展に伴う就業構造の変革に対応した人材の育成を進める必要がある。

## 第3期プランにおける対応方針

### 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成

- ①一次サプライヤー等を核とした自動車関連産業のサプライチェーン形成の促進、一貫工程化を目指す航空機関連企業や新製品の研究・開発を行う医療機器関連企業・情報関連企業への支援等を行う。
- ②陸上風力発電におけるメンテナンスへの参入支援や部品供給等に向けたマッチング支援、洋上風力発電の着実な事業化等を進める。
- ③コネクタハブ機能の創出・強化を通じた中核企業創出と地域経済への波及効果の増大を図るため、中核企業化を目指す企業と県内関連企業への一体的な支援等を行う。

### 中小企業・小規模事業者の活性化と生産性向上

- ④県内企業の競争力強化を図るため、付加価値生産性の向上に向けた相談体制の整備や、IoT等先進技術の活用について、普及啓発や導入に対する支援を行う。
- ⑤円滑な事業承継を促進するため、商工団体等の支援機関と連携し、企業の実情に応じたきめ細かな支援を行うとともに、事業の譲り受けを希望する県外在住者とのマッチング支援等を行う。

### 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進

- ⑥海外での商談機会の創出を図るため、貿易支援機関と連携し、継続した海外取引を行う企業の育成に向けた支援を行う。
- ⑦秋田港の利便性向上に向けたポートセールス活動や船社への既存航路の維持拡充の要請を行う。

### 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備

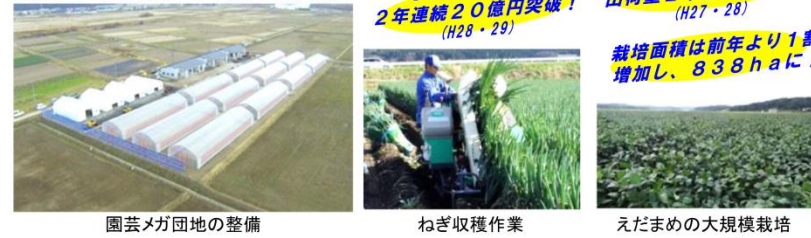
- ⑧県内企業への「働き方改革」の普及啓発に向けたセミナーの開催や働き方改革推進員による企業訪問等を行う。
- ⑨国際認証など品質保証に関する知識の習得に向けた企業の取組を支援するとともに、多様な産業分野で需要が増加しているICT人材の確保・育成に向けた取組を進める。

# 戦略2 国内外に打って出る攻めの農林水産戦略

## 主な取組と成果

### ①園芸振興をリードする園芸メガ団地の整備！

複合型生産構造への転換を加速化！



### ②「秋田牛」のブランド確立と全国メジャー化へ！

ブランドを支える生産拠点の整備！



### ③農地集積率が向上！



### ④効率的で収益性の高い農業経営の実現に向けた基盤整備！



### ⑤原木の低コスト生産と木材・木製品の安定供給体制の構築！

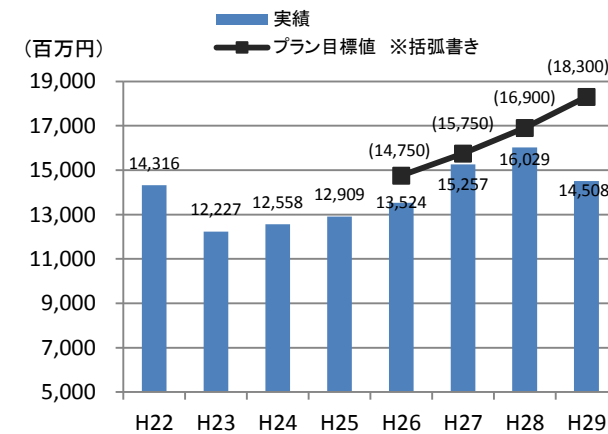


### ⑥移住を含めた新規就業者の確保！

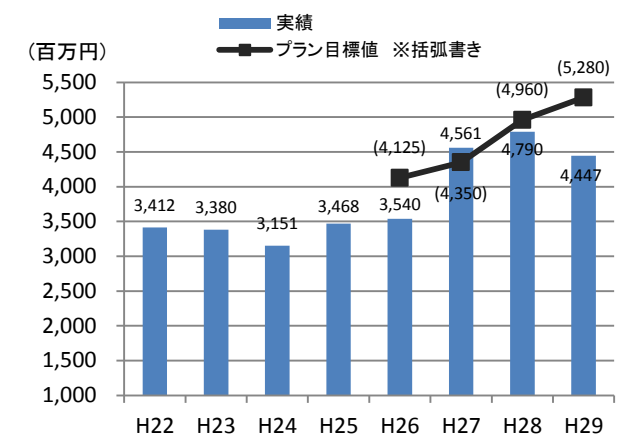


## 主な代表指標の達成状況

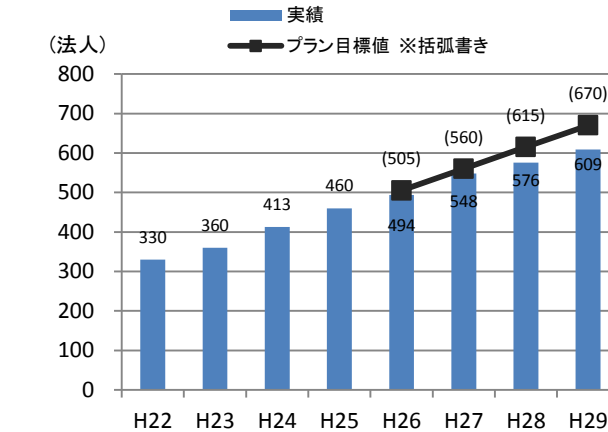
### ①主な園芸作物の販売額



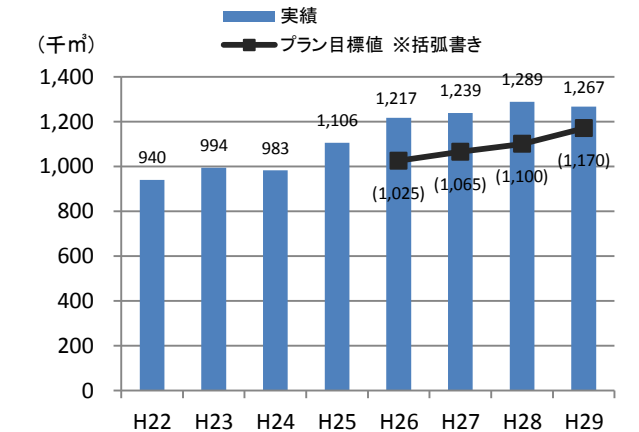
### ②黒毛和牛の出荷額



### ③農業法人数(認定農業者)



### ④素材生産量



## 主な課題

- ①ビジネス感覚を持った農業経営者の育成を図るとともに、次代を担う新規就農者の確保・育成や中山間地域の担い手の確保等に向けた取組を進める必要がある。
- ②園芸作物の生産拡大に向けた新たな品目の生産振興や、メガ団地等における労働力の確保等を図る必要がある。
- ③秋田牛の生産基盤の強化や、比内地鶏の生産拡大と販路開拓に向けた取組を進める必要がある。
- ④需要に応じた県産米の戦略的な生産・販売を図るとともに、経営の複合化、担い手不足に対応した農地整備を進める必要がある。
- ⑤6次産業化のビジネスモデルの確立に向けた取組を進める必要がある。
- ⑥東京オリンピック・パラリンピックを契機にスタンダード化が想定されるGAPの普及拡大に向けた取組を進める必要がある。
- ⑦新たな木質部材の開発等による木材・木製品の需要拡大や林業の担い手の確保等を図る必要がある。
- ⑧ハタハタの漁獲量の安定化、魚価の低迷やニーズ多様化への対応、漁業者の後継者の育成等に向けた取組を進める必要がある。

## 第3期プランにおける対応方針

### 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

- ①次世代農業経営者ビジネス塾等によりスキルアップ等を図るとともに、県外からの移住就農者や中年層の新規参入など多様なルートと幅広い年代から新規就農者を確保する取組を進める。

### 複合型生産構造への転換の加速化

- ②えだまめに次ぐ品目として菌類しいたけ、ねぎ及びダリアの生産販売対策を進めるとともに、JAが中心となった地域内での労働力調整を行う取組を強化する。
- ③収益性の高い大規模畜産団地の全県展開や、ストロングポイントの訴求による比内地鶏の販路開拓等に向けた取組を進める。

### 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

- ④プレミアム商品の開発による「米どころ秋田」のブランド力向上や、多様な品種のラインアップによる実需者ニーズに対応した販売力の強化等に向けた取組を進める。
- ⑤農地の大区画化による生産コストの縮減を図りながら、基盤整備、園芸メガ団地、農地集積の三位一体で取り組む「あきた型ほ場整備」を推進する。

### 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

- ⑥6次産業化プランナー等の活用を通じ、農林漁業者等の多様なニーズに対応した新たなビジネス創出を促進する。
- ⑦県版GAPの普及やJGAP等の認証取得モデル経営体の育成に向けた取組を進める。

### 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

- ⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした新たな木質部材等の開発・普及や、林業大学校を核とした若手技術者の育成等を図る。

### つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

- ⑨ふ化放流や産卵藻場造成などハタハタ資源再生に向けた取組や県産水産物の高付加価値化、地魚加工品開発等を進めるとともに、県内外での就業希望者の掘り起こしと技術研修・経営支援を行う。

### 地域資源を生かした活気ある農産漁村づくり

- ⑩中山間地域等における条件不利農地を守る経営体への支援を行う。

# 戦略3 未来の交流を創り、支える観光・交通戦略

## 主な取組と成果

### ①国内外への重点的なプロモーションを展開し 外国人観光客が大幅に増加！



### ③文化の力で秋田を元気に！ ～アートや伝統芸能等により地域の元気を創出～



### ⑤県内高速道路は近い将来の全線開通が視野に！



## 主な課題

- 国内客を中心とする本県の延べ宿泊者数は平成27年度以降減少傾向にあり、人口減少下における国内の観光地間競争が今後ますます激しくなることが想定されることから、国内外の多くの観光客から選ばれる、本県ならではの魅力が際立つ観光地を創出していく必要がある。
- 本県の強み・弱みを踏まえ、食文化を育んできた歴史や風土を生かしながら、本県ならではの魅力的な商品の開発、効果的なプロモーション等の取組を進める必要がある。
- 東京オリンピック・パラリンピックを、本県の文化資源を国内外に発信する絶好のチャンスと捉え、文化の力による交流人口の拡大を図るとともに、伝統文化等の保存・伝承や担い手不足への対応を進める必要がある。
- ジュニア層の競技力向上に向けた指導者の確保等を図るとともに、成人のスポーツ実施率を向上させるため、青・壮年期の日常的なスポーツ習慣の確立等に向けた取組を進める必要がある。
- 県内高速道路のミッシングリンクの解消に向けた取組を進める必要がある。
- 県内2空港における航空路線維持・充実のための取組を進めるとともに、人口減少社会における持続可能な地域公共交通網の維持・確保等を図る必要がある。

### ②秋田オリジナル新商品の販路を開拓！ 海外への輸出も順調に拡大！



### ④「スポーツ立県あきた」！ スポーツを通じて秋田を元気に！



### ⑥がんばる3セク鉄道！

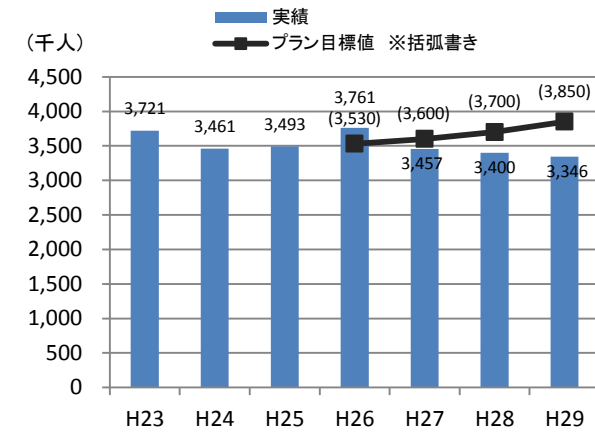


### ⑦大館能代空港東京便 利用者が最高に！

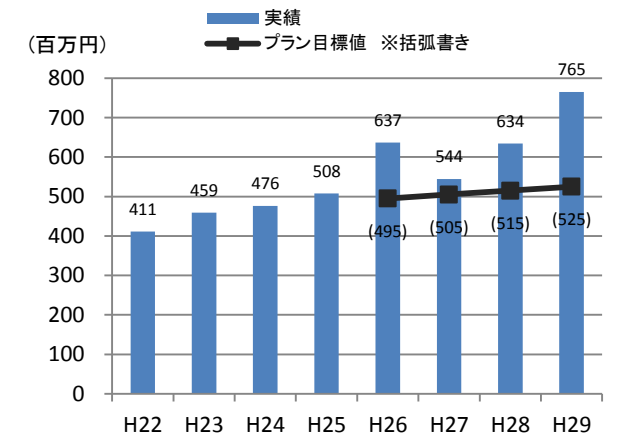


## 主な代表指標の達成状況

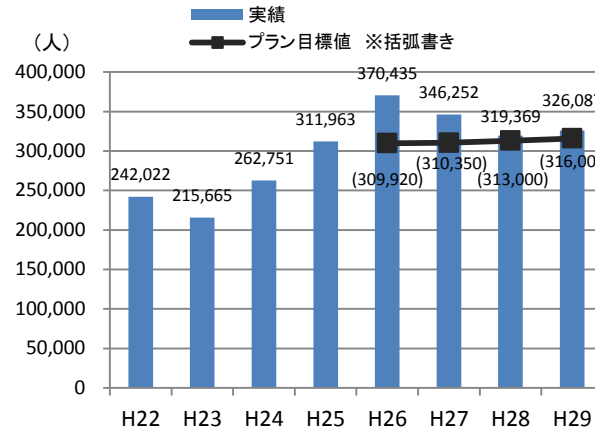
### ①延べ宿泊者数



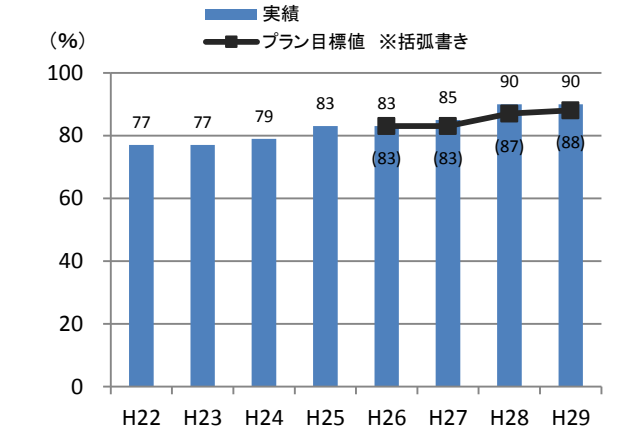
### ②農産物・加工食品の輸出金額



### ③主要文化施設への入場者数



### ④県内高速道路の供用率



## 第3期プランにおける対応方針

### 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

- 秋田犬や発酵食文化など、本県ならではの地域資源を活用した誘客コンテンツづくりに地域と連携して取り組むほか、ICTを活用した受入環境の整備、おもてなし運動の推進、二次アクセスの充実などを官民一体となって推し進め、総合的な誘客力を強化しながら、国内外からの誘客の拡大を図る。

### 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の促進

- 米菓等の米加工品、麴を活用した各種発酵食品など、総合食品研究センターと連携した次世代の商品開発等を進めるとともに、県産食材マッチング商談会の開催等を通じ、首都圏などでの売り込み態勢の強化等を図る。

### 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出

- 東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムである「東京キャラバン」等を実施し、秋田ならではの文化を国内外に発信するとともに、「新・秋田の行事」などの開催を通じ、伝統芸能や祭りの活性化と、新たな担い手の育成を目指す。

### 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

- 中学生強化選手と高校強化拠点校が連携した取組の充実を図るとともに、将来指導者としても活躍が期待される現役トップアスリートに対する県内就職や競技活動への支援を行う。
- 指導者等の育成による地域スポーツ活動の活性化を図る。

### 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

- 関係機関と連携し、県内高速道路の整備促進や早期完成を国に働きかけるとともに、県施行区間の整備等を計画的に推進する。

### 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

- 国際チャーター便の運航支援等を通じたインバウンド誘客の基盤づくりを進めるとともに、国内航空路線の維持・充実に向けて、県内空港の乗り継ぎ利用の促進や、航空会社に対する新規路線の開設、増便等の要望活動を強化する。
- 第三セクター鉄道における安全運行の確保と観光利用の促進に向けた取組を支援するとともに、路線再編等によるバスの利便性向上や、廃止路線の代替交通手段の確保に向けた取組を進める。

# 戦略4 元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略

## 主な取組と成果

### ①「健康寿命日本一」をめざす体制を整備！

健康寿命日本一をめざす県民運動を開始！

秋田県健康づくり県民運動推進協議会設立大会 (H29.7月)

野菜を食べよう！

運動習慣のない社会を！

生活習慣改善に向けた普及啓発を強化！

ロゴマーク作成！

がん検診車を整備！

### ②地域の医療提供体制の整備を着実に推進！

脳血管研究センター新病棟着工！ (H29.4月)

看護師確保の拠点をリニューアルしました！

県内で臨床研修を開始した医師数が高水準で推移！

### ③総合的な自殺予防対策により自殺者数が減少！

自殺予防街頭キャンペーンの実施！

心はればれゲートキーパーを養成！

自殺予防テレビ・ラジオCMの放送

気づき・寄り添う・見守る

秋田県

### ④高齢者の認知症対策など、福祉が充実！

ねんりんピック秋田大会を開催！ (H29.9月)

県内全ての二次医療圏に認知症疾患医療センターを整備！

障害者の地域生活支援体制を強化！

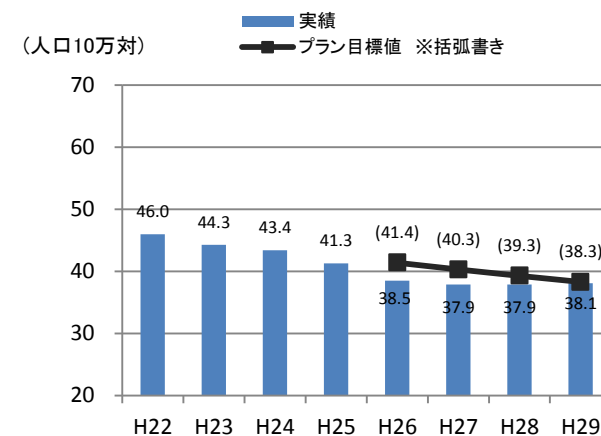
由利本荘地域生活支援センター (平成28年4月開所)

介護サービス事業所認証評価制度のご案内

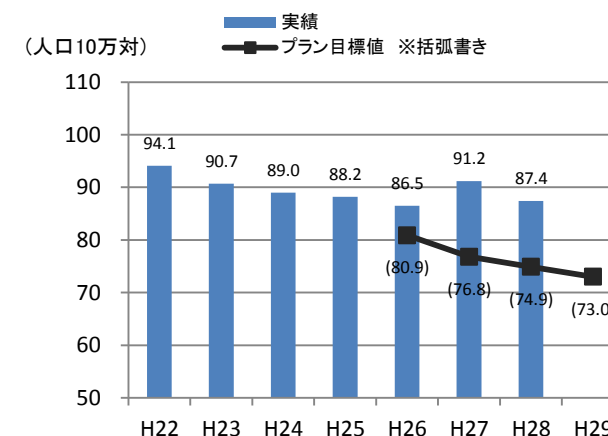
介護サービス事業所認証評価制度がスタート！

## 主な代表指標の達成状況

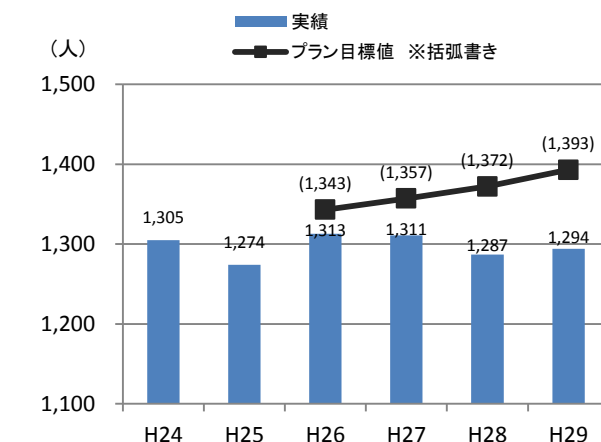
### ①脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率



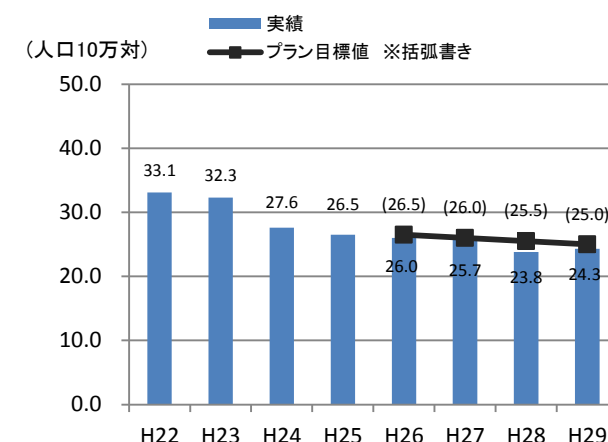
### ②がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率



### ③病院の勤務医師数



### ④自殺による人口10万人当たり死亡率



## 主な課題

- ①本県の一日あたり平均歩数や喫煙率など生活習慣に関する指標や特定健診受診率が全国平均よりも悪く、また、メタボや高血圧の割合が全国平均よりも高い状況になっていることから、健康づくりへの自覚を促す取組を進める必要がある。
- ②自殺による死亡者数の更なる減少に向け、詳細な要因分析による課題の把握と解決に向けた取組を進める必要がある。
- ③高齢化に対応した医療提供体制の確保や、医療から介護まで切れ目のないサービス提供体制の構築を進めるとともに、医師不足を解消するため、医師の地域偏在と診療科偏在の改善に向けた取組を進める必要がある。
- ④福祉ニーズの増大・複雑化に対応するため、介護・福祉人材の不足解消に向けた取組を進める必要がある。
- ⑤要介護の親とひきこもりの子が同居するケース、介護と育児に同時に直面する世帯など、複合的な課題に対応した支援体制の構築を進める必要がある。

## 第3期プランにおける対応方針

### 健康寿命日本一への挑戦

- ①市町村、経済団体、保健医療団体等と連携し、社会全体で健康づくりに取り組む気運の醸成に向けた取組を進めるとともに、企業による健康経営や市町村による健康ポイント制度の導入等を促進する。
- ②健(検)診の受診率向上を図るため、住民の利便性向上に向けた健(検)診体制の整備を進める。

### 心の健康づくりと自殺予防対策

- ③身体疾患を原因とする自殺の予防に向けた相談体制の強化を図るとともに、児童生徒が強い心理的負担を覚えたときに援助を求めることを学ぶ「SOSの出し方に関する教育」を推進する。
- ④市町村によるきめ細かな自殺対策への支援を行う。

### 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

- ⑤医師の確保・養成を図るため、医学生に対する修学資金の貸与、若手医師が大学と地域の病院を循環しながらキャリア形成をする体制の整備、女性医師への支援など総合的な医師確保対策を推進する。
- ⑥急性期から在宅医療等まで切れ目のない医療提供体制を構築するため、地域医療構想の実現に向けた病床機能の分化・連携を推進するとともに、在宅医療等の充実に向けた取組を進める。

### 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

- ⑦介護・福祉人材の確保・育成を図るため、介護・福祉の仕事に関する若い世代の理解促進を図るとともに、介護ロボット等の導入支援など介護職場の労働環境の改善に向けた取組を進める。
- ⑧複合的な課題に対応した支援を行うため、各地域における生活困窮者自立相談支援機関、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の連携による包括的な相談支援体制の構築を促進する。

# 戦略5 未来を担う教育・人づくり戦略

## 主な取組と成果

### ①地域産業を支える人材の育成



### ②少人数学習の推進による確かな学力の定着



### ③活力に満ちた魅力ある学校づくりの推進



### ④多様な国際教育・国際交流の実施



### ⑤多様な教育資源により地域活性化に貢献



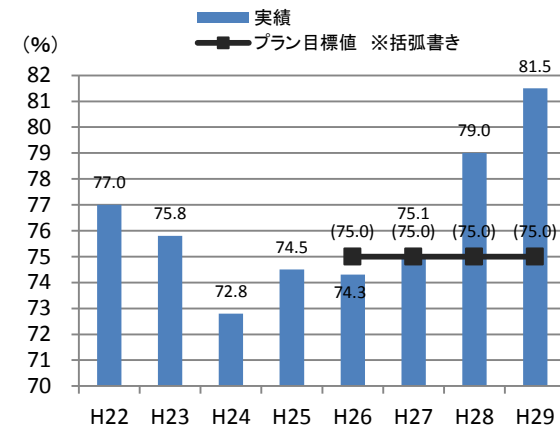
### ⑥伝統行事がユネスコ無形文化遺産に登録



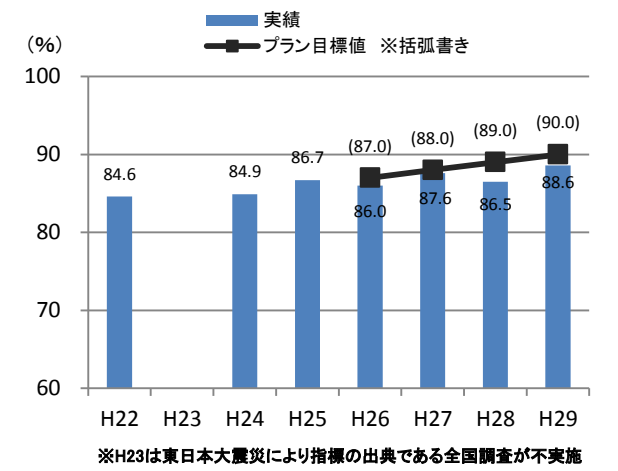
## 主な代表指標の達成状況

### ①県学習状況調査における通過割合

※通過割合: 想定正答率を上回った割合

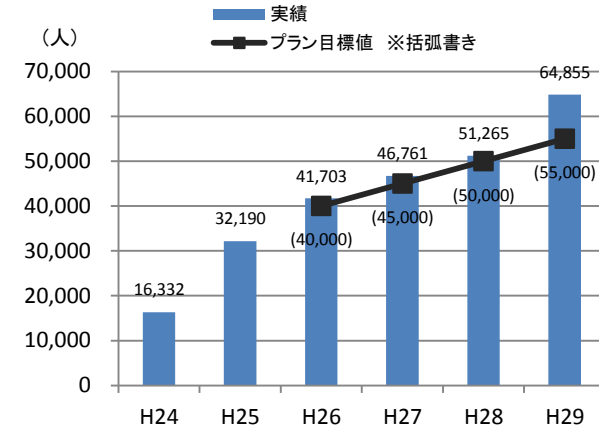


### ②授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(小6)

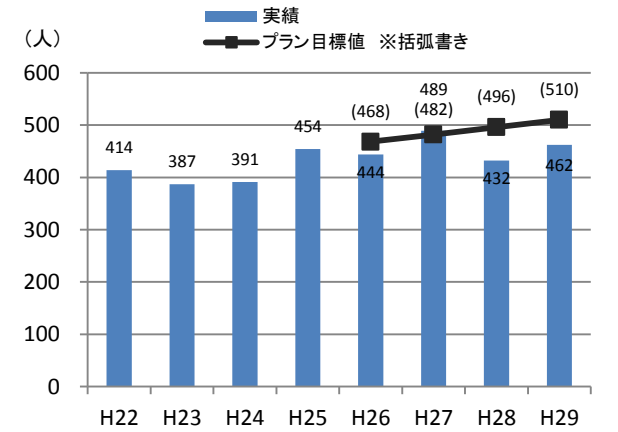


### ③地域で活動する行動人の人数

※行動人: 学んだことを行動に結び付け、社会に貢献している人の呼称



### ④県内高等教育機関への外国人留学生数



## 主な課題

- ①キャリア教育の充実を図るため、地域企業等に対する理解を促進するとともに、企業の専門人材による実践的な学習を推進する必要がある。
- ②地域の活性化や地域課題に取り組むチャレンジ精神や起業家精神をもつ人材の育成を図る必要がある。
- ③高校においてきめ細かな指導を行うため、小・中学校に引き続き、高校における少人数学級の充実を図る必要がある。
- ④グローバル化の進展を踏まえ、外国語教育の一層の充実や異文化に対する理解促進等に向けた取組を進める必要がある。
- ⑤家庭・地域との連携による道徳教育の充実や、関係組織等の連携による運動部活動の推進等に向けた取組を進める必要がある。
- ⑥地域と学校の協働活動の推進に向けた人材育成やコミュニティ・スクール導入への体制整備を進める必要がある。
- ⑦人口の社会減の抑制を図るため、県内大学生等の県内就職率の向上に向けた取組を進める必要がある。
- ⑧芸術・文化施設のセカンドスクールの利用を推進するための効果的な方策を検討する必要がある。

## 第3期プランにおける対応方針

### 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成

- ①各市町村教育委員会でされている「地域に根ざしたキャリア教育」の取組を推進するとともに、内容や成果を県内外に発信する。
- ②インターンシップ実施校を拡大するとともに、就職支援員等によるきめ細かな進路支援を通じた地域企業等に対する理解促進を図る。
- ③航空機・情報関連企業の専門人材からの直接指導等により実践的・専門的な技術等を有する人材の育成を図る。
- ④地域をテーマとした課題研究やビジネスプランニング教育等の充実を図り、地域活性化等に果敢に挑戦する人材の育成を図る。

### 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

- ⑤高校における35人程度学級の拡充等を図る。

### 世界で活躍できるグローバル人材の育成

- ⑥児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上や異文化に対する理解促進を図るとともに、ロシア沿海地方等との青少年交流等を通じた人材育成を図る。

### 豊かな人間性と健やかな体の育成

- ⑦「考え、議論する道徳」への転換に向けた研修等の充実や、授業づくりに関する家庭や地域社会との連携を進める。
- ⑧運動部活動の活性化に向けた中学校・高校合同練習会等の開催や、若手指導者を全国大会等の視察へ派遣するなどの支援を行う。

### 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり

- ⑨地域学校協働活動推進員等の養成に取り組むとともに、県立学校や小・中学校へのコミュニティ・スクールの導入に向けた取組を進める。

### 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興

- ⑩高等教育機関の魅力を高め、県内高卒者の県内大学等への進学率を向上させるとともに、産学官の連携により卒業生の県内定着促進を図る。

### 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供

- ⑪小・中学生が優れた芸術作品等に触れる機会を設けるため、芸術・文化施設における学習プログラムの整備等を推進する。

# 戦略6 人口減少社会における地域力創造戦略

## 主な取組と成果

### ① 高校生の県内就職を促進



### ③ 県民一丸となった少子化対策の推進

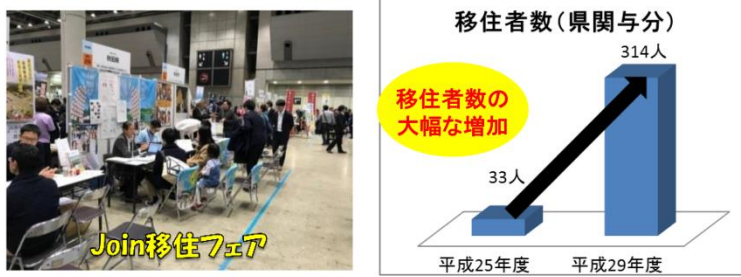
高等学校副読本等による意識醸成

結婚報告者が1,000人を突破

保育料と福祉医療費の助成拡大

結婚支援センターでマッチング・出会いの機会を提供!

### ② 移住定住対策を充実・強化

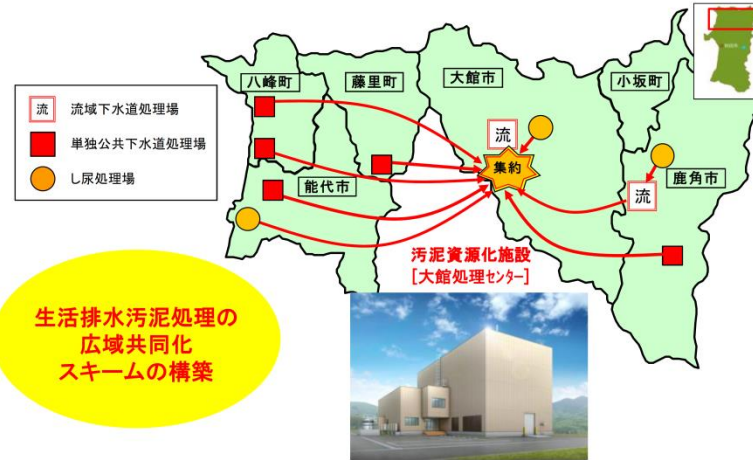


### ④ 秋田県市町村未来づくり協働プログラムの推進

全市町村でプロジェクトが立ち上がり、現在、11プロジェクトについて、観光や地域産業の振興など多様な分野における取組を推進

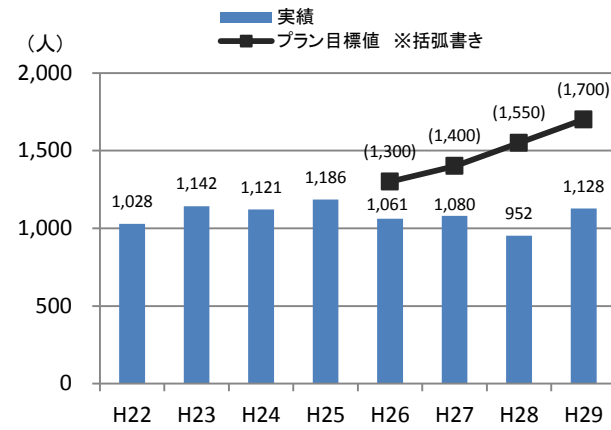


### ⑤ 県と市町村が連携した行政システムの構築

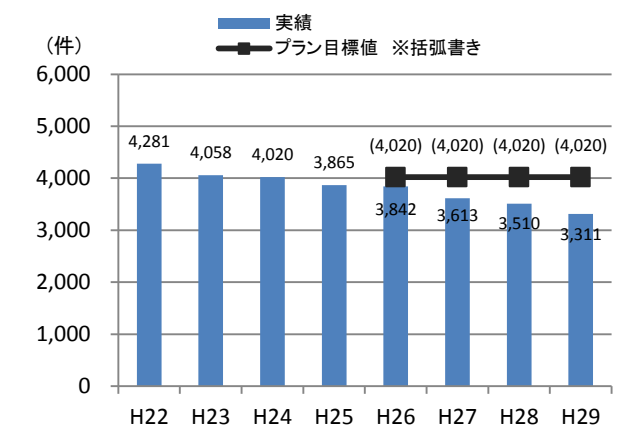


## 主な代表指標の達成状況

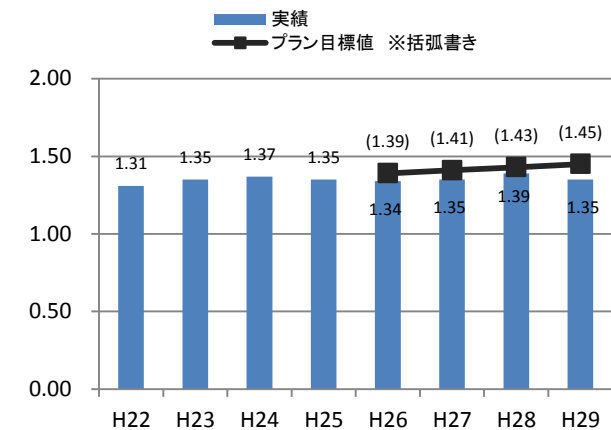
### ① Aターン就職者数



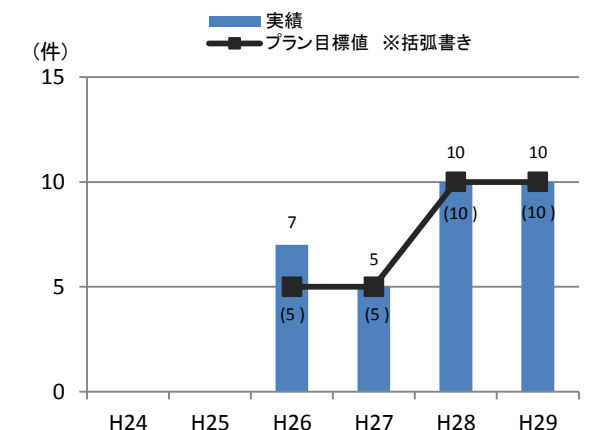
### ② 婚姻数



### ③ 合計特殊出生率



### ④ 自治体同士の連携が実現した取組数



## 主な課題

- ① 人口減少に歯止めがかかっていない現状を踏まえ、社会減の縮小に向けた若者の県内定着・回帰、移住促進の取組を強化する必要がある。
- ② 未婚化・晩婚化・晩産化が進行し、出生数が減少していることから、少子化の克服に向けた全県的な県民運動を展開するとともに、結婚支援の取組や安心して妊娠・出産できる環境の整備等をさらに進めていく必要がある。
- ③ 少子高齢化等の進行に伴い協働社会構築の重要性が増していることから、若年層の社会参加や協働の担い手となるNPO等の活動を促進する必要がある。
- ④ 地域コミュニティを持続的に支える仕組みづくりを推進するとともに、人口減少下における住民サービスの水準を確保するため、県と市町村の協働・連携、市町村間の連携を強化していく必要がある。

## 第3期プランにおける対応方針

### 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

- ① 県内就職への意識醸成や県内企業情報等の発信力の強化など若者の県内就職等を総合的に支援する。
- ② 食、子育て環境など秋田の魅力を発信し、移住潜在層の新たな移住ニーズの開拓に取り組むとともに、多様化する移住ニーズに対応する相談・支援体制の充実・強化を図る。

### 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

- ③ 現役子育て世代がメンバーとなるプロジェクトチームの活動を通じた子育て世代や次の親世代の意見を反映した県民運動を展開する。
- ④ 「あきた結婚支援センター」のマッチング機能の強化等を図るとともに、家庭や職場、地域全体で結婚を応援する気運の醸成を図る。
- ⑤ 子育て世帯への経済的支援等、県民が安心して妊娠・出産できる環境を整備する。

### 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

- ⑥ 企業における仕事と育児・家庭の両立支援を促進するとともに、女性が活躍しやすい環境づくりを進める。
- ⑦ 地域づくりに取り組む若者の育成等を進めるとともに、市民活動サポートセンターにおいて、NPOの経営指導等を行う。

### 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり

- ⑧ 「元気ムラ」活動の全県展開と地域資源を生かした元気ムラ商品の開発や首都圏等へのプロモーションを推進するとともに、「お互いさまスーパー」の新規設置・機能強化への支援等を行う。
- ⑨ 多様な主体による活動促進やNPO等の経営基盤の強化を図るため、異業種連携など分野を超えたネットワーク構築等への支援や市民活動サポートセンターにおけるNPOの経営指導等を行う。
- ⑩ 「県・市町村協働政策会議」等において協働で取り組む事務事業の協議を行うとともに、人口減少の急速な進行を見据えた県と市町村・市町村間の連携の更なる強化を推進する。